

60

HUMOUR

PORTLAND

EDUCATION

IDEAS
for CHANGE
THE WORLD

COMMUNITY
TELEVISION

Re-
DISCOVER
ONSEN ♨️

IDEA

SOCIAL
CREATIVITY



丸の内 朝大学

Y E A R
B O O K

2013 - 2014

URBAN KIKORI

WELFARE
PRODUCE

SUBJECT

EDITORIAL

RADIO
PERSONALITY

世界を変える (60) のアイデア

コミュニティで課題を解決する

東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト／インターナショナルプロデューサークラス／
アーバン木こりクラス／地域プロデューサークラス能登編／地域プロジェクトムービークラス／
スポーツ球団プロデューサークラス／ウェルフェアプロデューサークラス etc.

LEARNING

INNOVATION

PROJECT
MOVIE

INTERNATIONAL
PRODUCE

contents

特集 コミュニティで課題を解決する

世界を変える⑥0のアイデア

P02 東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト

P06 インターナショナルプロデューサークラス

P07 アーバン木こりクラス

P08 地域プロデューサークラス能登編

P09 地域プロジェクトムービークラス

P10 スポーツ球団プロデュースクラス

P11 ウェルフェアプロデューサークラス

P14 鼓童プロデュース!和太鼓クラス

P14 日本復帰60周年奄美シマ唄クラス

P14 阿波おどり入門クラス

P14 ニッポン再発見クラス

P12 プレゼンWEEK

P15 ソーシャルプロジェクト

P16 東京シャボン玉倶楽部

どんな世界を実現したい？

P18 丸の内朝大学100人アンケート

P22 Data 年表／クラス／受講生／キャンパスマップ

丸の内朝大学とは

2009年4月開校。大手町・丸の内・有楽町エリア全体をキャンパスに、朝7時台から開講する市民大学。持続可能なまちづくりを行う当エリアから、省エネルギー化、低炭素化につながる朝型ライフスタイルへのシフトを提案し、環境配慮型行動の定着をはかっている。3カ月を1学期とし、春・夏・秋の3期開講する講座には年間でのべ3000人以上が参加。各講座の開発のコンセプトは「丸の内で」「朝に」だけしか体験できないもの。30代のビジネスパーソンを中心に、年齢、性別、職業、勤務地も様々な人が学んでいる。課題解決型の講座が多いことが特長で、地域や都市、社会全体の課題解決に取り組む活動は講座の枠を超え、自主的なソーシャルプロジェクトとして発展し、朝の定期的な学びの場を通して醸成した都市型コミュニティが、世の中にグッドシフトを起こしている。

※「丸の内朝大学」は学校教育法上の「大学」ではなく、一般社団法人などによって運営される環境配慮型行動の定着を目的とした市民大学です。

■クリエイティブディレクション
株式会社バウム(宇田川裕喜)

■写真
ゆかい(ただ) P2、16

■編集
株式会社バウム(吉本淳)

■ロゴデザイン
江口伸二郎

■取材・執筆・イラスト
中里篤美 P16
株式会社バウム

■装丁・本文デザイン
tobufune(西垂水敦・平山みな実)

■印刷・製本
株式会社大伸社

■発行
丸の内朝大学企画委員会事務局
一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
エコツェリア協会(一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会)
特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会

丸の内朝大学企画委員会事務局
エコツェリア協会(村上孝憲、福富雅士)
株式会社umari(吉田秘馬、村田麻実、岩崎雅美、ジャスティン・ボツツ、児浦美和、田向勝大、弥生一葉、栗原里奈)
株式会社サンブラックス(斎藤吉朗、石川頼子、藤原真帆、山本寛明、安島実次、玉田隆之助)
株式会社バウム(宇田川裕喜、吉本淳、笹倉慎也、浅見洋子、萩原重、吉満瑞貴)
株式会社奨学米(笠木恵介)

※本誌内容の無断転記、記載、複写はご遠慮ください。
※本誌データは2014年1月27日現在の情報です。

朝の1時間が、世界を変える

2013年、丸の内朝大学は開校から5年目を迎えました。

のべ1万人以上の人がこの場で学んだことになりました。

彼らに共通するのは大学生も顔負けのパワーです。

忙しいスケジュールをなんとか調整してつくった

朝の1時間を最大限に生かそうとする人が集まると、

想像を超える力が生まれます。

そのパワーは、丸の内朝大学を社会人向けの学びの場から、
学びを起点とした“都市型コミュニティ”に成長させました。

性別も年齢も、会社での肩書も関係ない学びの場。

仕事ともプライベートとも違う、

オープンでフラットな関係を築く場。

社会と関わり、仲間とともに毎日を楽しむ場。

丸の内朝大学が担うのは、この場を通じて

「何かしたい」と考え始めた大人たちの背中を押してあげること。

震災復興、地域活性化、グローバル化、福祉、まちづくり。

様々な社会の課題をテーマに、

企業や行政と連携して開講したクラスのほとんどは

最終的にアイデアを発表する形式をとっています。

アイデアですから社会の課題を

突然解決できるような答えではありません。

でもそのアイデアが、未来を変えるきっかけにもなり得ます。

そう、エネルギーに満ちた朝の1時間には

世界を変える可能性さえあるのです。

このイヤーブックは、2013年に丸の内朝大学の受講生が
考え、議論し、悩み、笑い、

ときには泣いたり怒ったりしながら生み出した

世界を変えるアイデアの記録です。

東北の生産者と東京の社会人
ともに考えビジネスをつくる

朝大学では2013年春学期に初めて、1年間に及ぶ長期クラスを開講しました。「東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト」（以下、東北トレセン）における「復興プロデューサーカリキュラム in 東京」（以下、東京クラス）です。

復興について朝大学ではこれまでに2度クラスを開講していますが、今回大きく異なるのは、受講生が被災地の現状を知り意見交換するだけでなく、復興の鍵となる「新しい農業の仕組みづくり」という課題に対して「アイデアのビジネス化、プロジェクトアウトを目指している」ということ。一時的ではなく、長く被災地と東北の農業を支えるプロジェクトを生み出そうとしています。

こうした取り組みに企業も賛同。CSR（企業の社会的責任）から、社会課題の解決と企業の成長の両立を目指す「共有価値の創造（Creating Shared Value=CSV）」へと考え方を進化させ、経営戦略にCSVを加えた麒麟株式会社と東北トレセンに協賛し、3年間で60億円を拠出する「復興応援麒麟絆プロジェクト」のひとつとしても取り組まれています。さらに東北トレセンでは、東京クラスとともに、「農業経営者リーダーズネットワーク in 東北」（以下、東北クラス）が開

世界を変える

60

のアイデア

コミュニティで課題を解決する

仕事ともプライベートとも違う新しいつながりの中で、社会と関わりたい、役立ちたいと考える人が増えています。復興、グローバル化、地域活性化、福祉、スポーツ振興。

様々な課題に対して、楽しく真剣に仲間と取り組む受講生の姿、アイデアが生まれる学びの場“朝大学コミュニティ”の様子をお伝えします。

 × 企業

感性が高い受講生から
企業が学ぶべきことが
たくさんある。おもしろい！

麒麟株式会社代表取締役社長 磯崎功典



春秋

アーバン木こりクラス

～岩手・住田町プロジェクトデザイン編～

アーバン木こりとは「都市と森をつなぐあたらしい都市生活者」。日本の森林がおかれている現状を学び、フィールドワークでは林業のまち、岩手県住田町を訪問。木造仮設住宅の見学や、間伐体験、まちの人との交流を経て、住田町が抱える課題を解決する5つのプロジェクトが生まれた。 ※本ページの内容は秋学期開講クラスの取材に基づいて作成しています。

subject

林業のまち 岩手県・住田町を再生する



A.木が倒れる瞬間の地響きに、顔が引き締まる。 B.多田欣一住田町長の言葉に耳を傾ける。 C.「エネルギー」「ツーリズム」「用途開発」「木育」4つの視点からディスカッション。

私②視点

住田町の林業従事者

有限会社松田林業
松田昇さん

クラス終了後も、
お互いの顔を思い
浮かべる関係に



東京で働くセンスのいい人たちが第一次産業に目を向けて住田町まで来ることは、とても意味のあることだと思います。特に朝大学の受講生とは、Facebookなどを介して継続的なつながりを感じられる関係になって、都市と地方の結びつきが強くなってきていると確信しています。

あるのです」と授業を振り返りました。

講師である森林保全団体more trees事務局長の

水谷伸吉さんは「林業の抱える課題は複雑で、第

一次産業だけでなく、第二次産業である用途開発

やツーリズムのような第三次産業までが協働する

必要がある。多様な視点で課題に取り組むコ

ミュニティを生み出すことに、このクラスの意義

があるのです」と授業を振り返りました。

夜は、震災後に仮設住宅入居者の集会所として

利用されている旧小学校の一室で、住民や林業に

携わる人々と懇親会。地酒を酌み交わしながら話

られるまちの再生への思いを、真剣に受け止めま

す。「あたたかい人との出会いによって、まちに

対して特別な思いが芽生えた」と受講生。その後

丸の内デイスカッションを重ね、課題を解決す

る5つのアイデアが発表されました。

ideas

34 すみた森林えんびつプロジェクト

片端5cm芯なしのえんびつを開発。住田オリジナルプロダクトを開発することで、継続的な木材需要を生み出す。



33 元気モクモク木育計画

木や森との共生を学ぶ、「木育」に着目。3歳で木の玩具、小学校で植樹体験、高校で林業インターンなど、木こり英才教育プランをストーリー仕立てて発表。

32 ベレットストーブのリース事業

高いコストのかかるベレットストーブをリース販売し、住田町の木質ベレット(固形燃料)の需要を拡大するプラン。



31 エネルギーアンテナタウン住田

都市生活者がスマートフォンを通じて住田町の生活や林業を体験できるアプリ「バーチャルタウン住田」を開発。都心と住田町の継続的なつながりを生む。

30 SUMITABI

「日本一の木こりに会う旅」「日本一のツーリズムハウスをつくる旅」など、「林業日本一のまち」ならではの旅のプランを提案。住田町の魅力を伝え、まちのファンを増やす。



春秋

インターナショナルプロデューサークラス

～世界にっぽんを伝えよう～

世界中の情報がいつでも手に入る現代における、他国にはない日本ならではの「価値」を探り、国外へ向けてプロデュースしていく実践型クラス。5人の講師陣のうち4人は外国人。英語で行われる授業では、「インターナショナル」の定義を考えることからスタートする。 ※本ページの内容は秋学期開講クラスの取材に基づいて作成しています。

subject

海外へ日本の真価を伝える 新しい旅を企画



A・B.日本古来の生活をヒントにした宿泊や体験を提供する「ブラウズフィールド」を、代表のエバレット・ブラウンさんが案内。 C.クラスは女性が9割で子供を運んだ人も。

私②視点

日本を発信するメディア

nippon.com
ポール・ウオラムさん

日本に眠る資源の
多さを受講生を
通じて認識



日本の情報を多言語配信するメディアに勤めており、今回取材として授業やFWに立ち会いました。私自身、日本に住み、海外へ向けて日本を発信していますが、日本の真価を熱心に模索する受講生を通じて、まだ知られていない多くの資源が日本にはあるということに気づかされました。

日本の真価を探り、それを海外へ発信する方法を考えるこのクラス。企画した国際ビジネス開発ディレクターのジャスティン・ポッツさんは「日本人の日常生活こそが外国人にとっては価値のあるもののなのに、日本人はなかなかそれに気づけていない」と課題提起します。

FWフィールドワークでは国内外から日本の暮らしを愛する人々が集う千葉県いすみ市のブラウズフィールドで、日常生活の魅力的な見せ方を学びました。受講生は、過疎化が進む周辺地域の人々とも交流。話をする中で、FWを通じ感動した満天の星空や豊富な海の幸などが、地元では当たり前すぎて魅力として見逃されていると感じ、都市と地方の人の間で生まれる違いが、日本人と外国人にも当てはまることに気づきました。

最後の授業ではチームごとに真価を伝える旅を提案。受講生の斎藤寛子さんは「日常に潜む価値を探った結果、日本人にとって最も身近で重要な調味料である醤油を切り口にしました」と発表を振り返ります。醤油に代表される日本食が2013年に無形文化遺産に登録されたように、日本の日常生活が海外で再評価される時代がやってきているのかもしれない。

ideas

29 江戸時代の娯楽を体験

近年、世界中から人気を集める日本のエンターテインメント。その原点ともいえる多くの大衆文化が生み出された江戸時代にタイムスリップして、ルーツに触れる。

28 ソルフード、醤油をガイド

日本人の体の芯まで染み付いているといわれる醤油から日本の食と生活を読み解くツアー。肉じゃがやみたらし団子など醤油を使った料理を食べたり、醤油づくりを体験する。

27 日本のお弁当文化を学ぶ旅

海外から注目を集めているキャラ弁や駅弁など日本独自の弁当文化にスポットを当て、日本の食生活体験を提供。



26 妖怪に出会うツアー

日本人古来の生活や思想が反映された妖怪伝説や、江戸時代に広まり現代まで残る七不思議を巡り、他国にはないユニークな日本の民間信仰を読み解く。

25 ビジネスマン向け奥多摩トリップ

都内で気軽に田舎気分を味わえる奥多摩の素朴な魅力に着目し、仕事で来日中の外国人を週末に癒やしの旅へ案内。採れたてワサビや温泉でリフレッシュする。



地域プロジェクトムービークラス

～地域プロデュースを発信!三重編～

朝大学で2011年秋・2012年秋に開講した「地域プロデューサークラス三重編」をきっかけに生まれた受講生の自主的な活動「ソーシャルプロジェクト」を中心に、三重県の魅力を動画にまとめるクラス。動画制作の技術ではなく、取材方法や構成を中心に学び、どうすれば伝わるかについて深く考えた。

subject

三重の魅力を 動画で伝える



A. 伊賀焼の陶芸家宅を訪れて話を聞いた。 B. 紀北町の人々に個別にインタビューシテロップもつけられた紀北町チームの動画。 C. 志摩半島で行った結ボタの様子を撮影した。

私の視点

沖縄民間観光案内所アーストリップ
株式会社アンカーリングジャパン
藤島美智瑠さん

「伝える」目線が
地域のとらえ方を
大きく変える



動画を見て新鮮だったのは、地域の魅力が当時自分が考えていなかった角度から紹介されていたこと。「伝える」を意識するとこんなにも地域の見え方が変わり、もっと魅力的になる。目線を変えてみることの大切さ、動画の力も感じました!沖縄の観光PRにも生かしたいです。

※2012年秋の地域プロデューサークラス
三重編を受講していた。

映像のプロではなくても、思いを持った人こそ、思いを伝えることができるんだと感じました」と話すのは、三重県庁で三重県のファンづくりに取り組む田中保浩さん。「三重に住む私たちが知っているつもりになっていたこと、うまく言葉にできなかったことを受講生が映像にまとめてくれた。こんな人、場所があつたんだと、たくさん発見がありました」と、完成した映像を振り返ります。

三重県の協力のもと開講された本クラス。映像制作が目的ではありません。地域活性化案を考える地域プロデューサークラスの考え方をベースに、三重を自分で見て感じ、人との触れ合いの中で伝えたいものを探するという過程を大切にしました。伊賀を紹介した吉田由香さんは、自身が主宰する親子のワークショップの企画に生かさればと朝大学を初受講。「三重にゆかりはありませんが、インタビューを通して伊賀でがんばる人の信念を知りファンに。子どもにも地域の魅力が伝わるようにコマ撮りアニメで表現しました」

今後、制作された映像は日本橋にある三重テラスでも放送予定。手づくりだからこそその臨場感ある映像が三重ファンの輪を広げていっています。

「映像のプロではなくても、思いを持った人こそ、思いを伝えることができるんだと感じました」と話すのは、三重県庁で三重県のファンづくりに取り組む田中保浩さん。「三重に住む私たちが知っているつもりになっていたこと、うまく言葉にできなかったことを受講生が映像にまとめてくれた。こんな人、場所があつたんだと、たくさん発見がありました」と、完成した映像を振り返ります。

ideas

44 結ボタリング

地域プロデューサークラスから生まれた自転車旅「結ボタ」。通常は都内で三重県ゆかりのスポットをめぐるが、今回は志摩半島の安城崎を目指して行った旅の模様を撮影した。

43 紀北町

紀北町の運動会に参加するという地域プロデューサークラス受講生を導いたドキュメンタリー。2年前の受講、紀北町との出会いから、今までずっと彼らを惹きつける理由を探った。

42 伊賀市



食事の場を通して教育を行う「卓育」を起点にした、伊賀焼土鍋が主人公のコマ撮りアニメ。伊賀牛の生産者などに会い美味しい鍋料理が出来上がるまでをストーリー仕立てでまとめた。

41 萬古焼

ハレルヤコーラスの替え歌にのせて三重県の伝統工芸品・萬古焼に関わる人へのインタビューをまとめた。窯元、朝大学受講生による「TEAM BANCO」などの声を通して、魅力を発信。

40 答志島

鳥羽市最大の島である答志島で働く人の日常風景を撮影。「労働は生活の背景である」というニーチェの言葉をテーマに、漁業を中心にした島の姿をありのままに伝えた。



地域プロデューサークラス

～日本を地域からデザインする!能登編～

実際に地域活性化を手がけているプロデューサーからその手法を学び、地域が抱える課題を解決していくクラス。2010年に開講し、新潟県、三重県、富山県をテーマ地域に授業を行ってきた。9回目を迎えた今回は2011年に世界農業遺産にも認定された能登を、都市生活者の視点でプロデュースした。

subject

能登空港の搭乗率アップのため 首都圏へ能登の魅力を発信



A. 奥能登塩田村で江戸時代から伝わる「揚げ浜式製塩」を体験。 B. コンロ用の珪藻土を切り出す職人の技に挑戦。 C. 授業終了後に実際に「里山ヨバレ」を開催。

私の視点

輪島塗のつくり手
輪島キリモト・桐本木工所
桐本泰一さん

受講生の視野の
広さとゆとりが
能登へ



「輪島塗チーム」と活動を共にしていますが、驚いたのは彼らの視野の広さと心のゆとり。自分は日本を代表するものづくりをしているという自負がありながらも、その魅力をうまく伝えきれていない焦りがありましたが、彼らのおかげでこちらにも余裕が生まれてきた気がします。

全国初の搭乗率保証制度(※)を導入し、毎日羽田ー能登間の合計4便を離発着させている能登空港。誘客を図り搭乗率を上げるため、能登の魅力を首都圏へ発信する方法を探りました。

授業ではまず20人以上の能登の住人と行政関係者が丸の内へ赴き、各チームで取り組むテーマを説明。8月に行われたFW(フューチャーワーク)では受講生が能登を訪れ、地域の人々との交流を通して能登の魅力に触れました。「輪島塗チーム」は明治期の輪島塗の家具膳でサザエなど地元食材を用いた料理を満喫し、扱いやすく口当たりも優しい器を体験。この経験が「おもてなしバトン」のアイデアにつながりました。

プロデュース案の発表を行いクラスが終了した後も、定期的に各チームが能登に赴き、地域の人々や行政と協力してアイデアを実行に移しています。「炙り文化チーム」に属する受講生の山口淳さんは「昔から塩づくりが盛んで忍耐強い能登の人々の気質を理解し、住民、行政、受講生がいかに気持ちを一つにして活動を進めていけるか。プロジェクトが進み始めたここからが勝負どころ」と長期的な活動への発展に意欲をみせていました。

ideas

39 里山里海チーム

自宅に人を招いてもてなす風習「ヨバレ」をヒントに、庄屋として里山の中心を担ってきた県の有形文化財「中谷家」に首都圏在住者と呼んで、おもてなしを行う「里山ヨバレ」を開催。

38 炙り文化チーム

埋蔵量全国一の珪藻土を使ったコンロを広めるため、気軽に炙って食べる文化を提唱。最終的には、能登のコンロ職人と食材に出会う旅へつなげる。

37 能登の酒蔵チーム

能登の酒に愛着をもってもらうため、「能登酒蔵学校」を東京で開校。酒の知識習得に加え、能登でのFWでは酒蔵と直接交流を深められる場を提供する。

36 輪島塗チーム

扱いにくいと思われがちな輪島塗に親しんでもらうため、能登の食材を輪島塗の器で提供したり、その使用感を共有する「おもてなしバトン」を企画。

35 能登島チーム

人口約3000人の能登島。夏に来島者が集まる課題を解決すべく、3001人目の島民になれる旅「ただいまプロジェクト」を提案。季節ごとに島民の生活を体験できるイベントを企画する。



※目標搭乗率を設定し、下回った場合は石川県が航空会社に保証金を、逆に上回った場合は航空会社が石川県に販売促進協力金を支払う制度。2003年の開港当初より導入され、2013年まで毎年目標を達成している。



ウェルフェアプロデューサークラス

～障がい者施設と丸の内をつなげよう!～

「ウェルフェアトレード(公正な社会福祉取引)」という考えに基づき、知的・精神障がいのある人たちが利用する施設が提供する新しい商品やサービスの立案、既存商品のデザインのブラッシュアップなどに取り組む。荒川区など行政も巻き込んで「丸の内」でできることを考えた。



A.授業で障がいがある人がつくった商品に触れる受講生。 B・C.フィールドワークで施設を訪れ、障がいがある人たちの指導のもと新聞エコバッグづくりや紙漉きを体験。



私②視点

福祉施設のスタッフ

原町成年寮 奥戸福祉館
中島房枝さん

受講生の熱意は
利用者さんにも
伝わっています



とにかく受講生の熱意がすごいいと感じました。施設訪問の際、障がいがある利用者さんから作業について熱心に話を聞いたり、授業以外にも施設が行っている「やまもも祭り」に参加したり、積極的に関わっていただいたことで、利用者さんも刺激を受け仕事を頑張る姿がみられたのが嬉しかったです。

最終発表では、丸の内での販売の仕組み、商品をより多くの人に知ってもらうための情報発信の仕方など、5つのアイデアが生まれました。

授業では、実際に施設を訪れ、障がいがある人と交流。受講生は「利用者さんの集中力、正確さ、スピードに驚いた」と、障がいがある人の技術力の高さに可能性を感じました。一方、施設スタッフからは「商品がどんなに高品質でも福祉の作品としてみられてしまい、優れた商品としてみてもられない」「良い素材や技術があっても、商品化できる企業の目に届く機会が少ない」という声もあり、施設の苦勞も感じました。

誰もが働くことの素晴らしさを感じられる世の中にしたい。講師であるMotherness Publishing代表の羽塚順子さんは「施設と日頃接する機会がなく存在が知られていないため、利用者さんがつくった商品売の販路が限られ仕事がないという現状がある」と言います。

そこで本クラスではまず「丸の内の人」に施設の存在を知ってもらうことを課題に設定。施設と連携した従来の取り組みでは、新商品開発だけで終わることが多いなか、商品や施設の「伝え方」を主軸としたアイデアを考えました。

ideas

56丸の内 WING Project

ウェルフェアトレードされたプロダクト、ショップ、イベントなどの情報をFacebookファンページを通じて世の中に伝えていく。
<https://www.facebook.com/marunouchi.wingproject>

55hana*maru

地域作業所hanaがつくる新聞エコバッグをリブランディング。新聞ならではの目付記載に注目し、メモリアルグッズとして展開。さらに「hana*maru」ブランドを構築し、丸の内販売する。

54一越会さんと一緒に

社会福祉法人一越会が手作業でつくった和紙「一越紙」を実際に目で見えて使って、確かめてもらい、素材としての魅力を知ってもらうためのワークショップを開催。

53出会ってくれて ありがとうプロジェクト

「置いてください」「広めてください」「会いに来てください」をテーマに、福祉作業所が作った紙袋が丸の内で行い、手づくりパンと「ありがとうカード」を感謝の気持ちと一緒に届ける。

52丸の内ありがトーストプロジェクト

障がいがある人と都会で働く人をパンで結ぶというアイデア。奥戸福祉館でつくったパンの移動販売を丸の内で行い、手づくりパンと「ありがトーストカード」を感謝の気持ちと一緒に届ける。



スポーツ球団プロデュースクラス

～みんなでつくる東京初プロバスケットチーム～

日本のバスケットボールが2015年のプロリーグ化を目指す中、東京発のプロチーム東京エクセレンスがNBDL(※)へ参戦。チームを盛り上げ、育てていくことを目標に「キックオフイベントの集客」「ホームゲームの活性化」「ファンクラブ会員数アップ」「行政との連携」の4つのテーマについて考えた。



A.フィールドワークで練習を見学。 B.キックオフイベントを盛り上げるためエクセレンスカラーのTシャツを着る受講生。 C.受講生と選手と一緒にクラスを訪れキックオフイベントを告知。



私②視点

港区のスポーツ仕掛人

東京都港区教育委員会 次長
安田雅俊さん

スポーツは
人生の原動力
となる



授業ではチームの活動拠点のひとつである港区として「スポーツがもたらす文化に期待すること」や「スポーツによる歓喜と絶望が、人生の原動力となり得ること」をお話ししました。人は常に感情を刺激され生きています。朝大学でエモーショナルな経験を重ねていくことを期待しています。

「東京エクセレンスをプロデュースするためにはスポーツは文化であることを理解することが大切」と、講師である東京エクセレンスジェネラルマネージャーの辻秀一さんは言います。授業では、選手やスタッフと協力しながらプロデュース案を考えるだけでなく、バスケットが社会や人に与える影響も学びました。

クラス後半、「キックオフイベントの集客」のために出されたアイデアを実行し、他クラスを訪問して行われた告知活動には選手も参加。この告知を見て実際に足を運んだ受講生の香川敬博さんは「選手と直接話すことができ親近感と一体感を感じた」と言います。山中敏彦さんは「小5の娘と観戦し、試合後の交流会で2メートルもある選手に娘が『高い高い』をしてもいい感激。選手、チームをもっと応援したい!」とファンクラブへの加入を決めました。

受講生の中には、イベントにボランティアで参加し、来場者対応やグッズ販売を手伝った上、そのマニュアルまで作成する人も。2013年冬には「朝大学バスケット部」も発足し、受講生と東京エクセレンス、丸の内とスポーツの関係はより深くなっていきます。

ideas

行政との連携

50行政ビギナーズ

大田区が抱える「観光資源の不足」という問題に対して、羽田空港特設コートでゲームを行う。

51Team ALL for WIN

福祉行政の観点から社会的弱者とされる「障がい者」「高齢者」「子ども」にバスケットを体験してもらう。

ファンクラブ会員数アップ

48FUN Maker

スポーツバーで無料配信できる映像作成、バスケットボールを試合観戦に招待し認知を拡大。

49Team MINE

ファンクラブ会員は、選手とともに社会貢献活動に参加できる。

ホームゲームの活性化

47Team 2000 & ぶざーびーたー

・スポーツ合コンなどの話題性のあるイベントで知名度向上。
・2月15日のゲームを「一日遅れのバレンタインDay」として入場時チョコを配布。

キックオフイベントの集客

45チームキック

選手・スタッフとともに朝大学の10クラスを訪問し宣伝。

46Team 3000

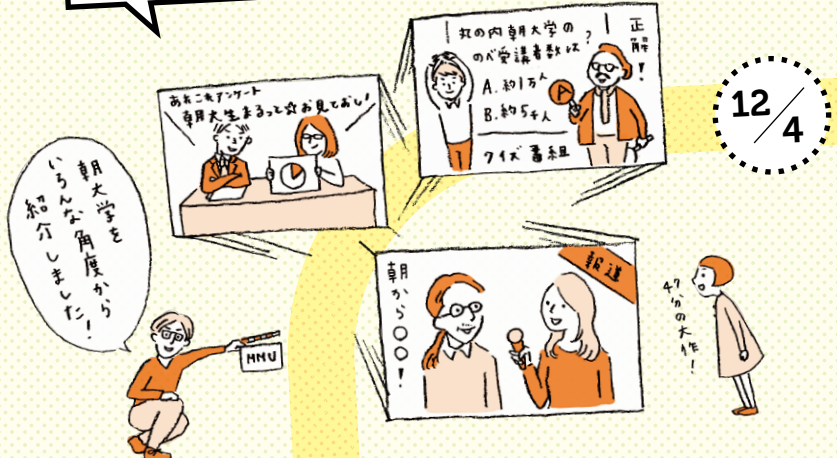
スポーツ系イベント、学食でのチラシ配布。

※National Basketball Development League。日本バスケットボール協会が中心となり2013年に始動した男子バスケットボールリーグ。

丸の内朝大学TV開局クラス ～「おもしろい」をシェアする番組づくり～

2014年春の「丸の内朝大学TV」開局に向け、朝大学発のソーシャルメディアコンテンツを放送作家とともに企画制作するクラス。

丸の内朝大学TVパイロット片断を発表



「美と健康」を、自分の手で
つくっていく1年計画を
パッケージ化しました!

地産地消も
意識してもらいたい

テレビ



11/27

本もキーに編集した物語性ある商品を発表

「編集力」めざましクラス
～アタマとココロの朝稽古～
インシ編集学校のユニークな編集技法を学び、自分に
秘められた「編集力」を発見するクラス。

「ウェルフェアプロデューサークラス」
～障がい者施設と丸の内をつなげよう!～
→P.11へ

福祉施設をプロデュースする企画を発表



福祉施設でつくった商品も
店内で卸売り販売!
「ありがとう」の言葉を伝えよう

この内の
通客が
アイディアだね

12/5

海外へ日本の真価を伝える 楽しい方々のストーリーを発表

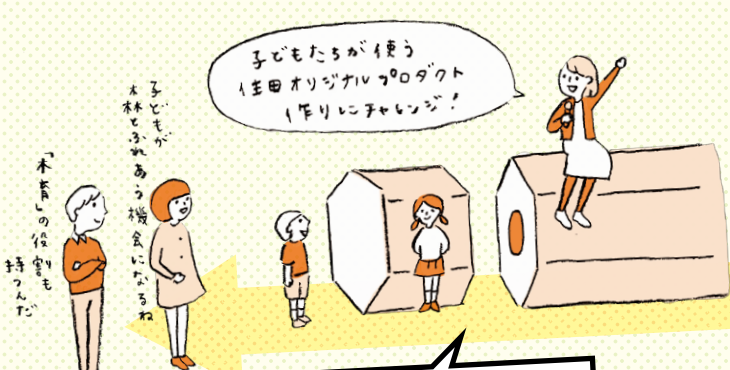
「国際プロデューサークラス」
～世界にっぽんを伝えよう～
→P.6へ



Parents and
Children
experience
'Real Japanese Food'

まちの課題を解決するプロジェクトを発表

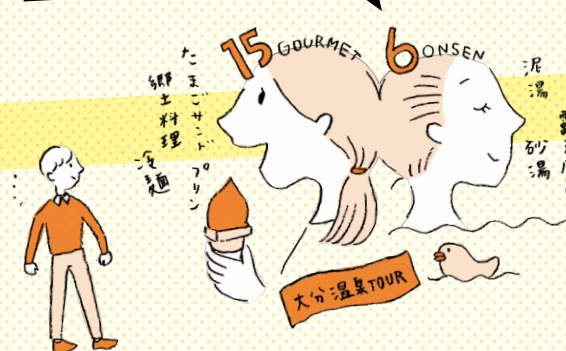
「ソーシャルクリエイティブクラス」
～グッドアイデアでまちづくり!～
「マイまちづくり」をテーマにクリエイティブ
な手法を学びながらまちの抱える課題を解
決するプロジェクトを生み出すクラス。



子どもたちが使う
1生田オリジナルプロダクト
1作りにチャレンジ!

「日本温泉再発見withおんせん県クラス」
～魅惑の温泉めぐり～
大分県で行う「魅惑の温泉めぐり」フィールドワークで日本の温泉
文化を学び、オリジナルの温泉めぐりプランを企画するクラス。

大分の湯めぐりプランを発表



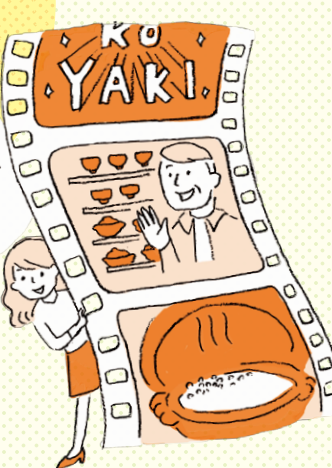
おいしい
おんせん
いっぱい
だった!
大分温泉TOUR

三重の魅力を紹介するムービーを発表

「地域プロジェクトムービークラス」
～地域プロデュースを発信!三重編～
→P.9へ

12/9

「TEAM BANCO」
萬古焼のすばらしさを
楽しく伝えます!
ばんこやき



アイデア発表の現場に密着 プレゼンWEEK



次の時代をつくる受講生のアイデア発表週間
2013年秋学期、授業で行われる受講生によるプレゼンテーションを、朝大学内外の人が見学できる「プレゼンWEEK」を初めて開催しました。11月27日から12月17日の期間で8つのクラスが発表した、個性豊かなアイデアをレポートします! ※プレゼンWEEKにはほかに、「ユーモアまねNEOクラス」「ラジオパーソナリティクラス」も参加しました。



クラスが終了した後も、受講生は継続して課題に取り組んでいます！

ソーシャルプロジェクト

朝大学のクラスをきっかけに、社会に“いいこと”“楽しいこと”を受講生が企画し、自主的に活動している「ソーシャルプロジェクト」。
まち、地域、社会を変える活動が日本全国で行われています。

59



丸の内健康づくりラボ
(マルケン)

subject

健康になれる
まちをつくる



朝大学では2013年度、のべ約30の健康系クラスを開講。ヨガ、食生活、体幹トレーニング、オーガニックなどテーマは様々ですが、朝から身体を意識する場を提供しています。そんな中、2013年春に、健康や体づくりに関連した「からだ学部」「心体学部」の受講生を中心に結成されたのが、丸の内健康づくりラボ、通称「マルケン」。早朝の丸の内、朝食と健康セミナー付きの体組成測定会を開き、丸の内に集う人の健康リテラシーを高める活動を行っています。

新潟維新隊

新潟の地域活性化を目指し活動。地域の人とオリジナル米などを生産し販売している。

東京木こり倶楽部

薪割りや森のめぐみを通して心地よいライフスタイルを楽しむための活動を行う。

ゴスペルクワイア“Birds”

丸の内コーラスクラス受講生が結成。休日にマルシェで歌を披露するなど多数のイベントに出演。

Teamひじき

三重県ゆかりの施設や店舗を自転車で巡り、三重ファンを増やすことを目指す。

東京キャンプ

公園を活用してキャンプする発想をベースに、手軽に自然と触れ合うコンテンツを展開。

Theatre at Dawn

早朝から、芝居やクラシックコンサートなどを企画。朝公演で丸の内に賑いを生んでいる。

TEAM BANCO

土鍋シェア80%を誇る三重県の伝統工芸品・萬古焼の都心でのPRを積極的に行う。

Morning★Diamonds

丸の内チアダンスクラスの受講生が結成した男女混合チーム。トライアスロン大会の応援など参加。

東京シャボン玉倶楽部

→P16

ほか

▶ 最新情報はソーシャルプロジェクトブログで! www.asadaigaku.jp/blog/spb/

subject

地域の文化、風習を
多くの人に知ってもらう

idea

57 都市の人がワクワクして
体験できるクラスをつくる

観光客の減少や過疎化に悩む地域の人は、「都市の人に遊びに来てほしい」「地域の魅力を知ってほしい」と考えています。ならば朝大学は、都市に暮らす人がワクワクするような地域との接点、出会うきっかけをつくりたい。実際に地域を訪れ、人々と交流し、土地の文化や風習を知り体験するクラス、2013年度も多数開講しました。

阿波おどり入門クラス
～朝から踊らにゃ損損～



約400年の歴史を誇る「阿波おどり」を実際に踊って楽しむクラス。授業は踊りの基礎となる足の運びを学び「なんば歩き」を身につけることから始まりましたが、中腰の姿勢に筋肉痛になる人も。8月下旬のフィールドワークでは東京高円寺阿波おどりに志留波阿連の一員として参加。夏学期終業式でも踊りを披露し、他のクラスの受講生も踊りに巻き込んで大きな盛り上がりを見せました。

鼓童プロデュース!和太鼓クラス
～目指せ!アース・セレブレーション～



新潟県佐渡島に本拠地を置く太鼓芸能集団「鼓童」が講師。新潟から丸の内まで太鼓25台を毎回輸送し、バチの持ち方から、曲の演奏まで、プロの熱い指導のもとしっかり練習しました。その成果は、講座終了から2カ月後に行われた国際芸術祭「アース・セレブレーション」で披露。パフォーマンス終了後は達成感から涙する受講生も多く、人を惹きつける和太鼓の力を感じました。

ニッポン再発見クラス
～愛媛第2弾・忽那諸島へ島留学!編～



知っているようで知らない日本の様々な地域を座学で学んだ後、実際に旅に出る“大人の修学旅行”クラス。2013年夏学期は、瀬戸内海の愛媛県松山市忽那諸島をテーマに開講しました。松山市の有人島9島を含む30以上の島のうち中島、怒和島、津和地島を訪れ、農作業や漁を体験。地元の人と交流しながら、都会では味わえない風景、食、暮らしを肌で感じ、1泊2日の短い時間でしたが島生活を楽しみました。

日本復帰60周年奄美シマ唄クラス
～シマ唄を通じて島人の心に触れる～



奄美群島に伝わる古謡「シマ唄」は、歌詞に万葉時代の古語が使われるなど、いにしへの日本をいまに伝える貴重な文化です。クラスでは、唄を通じて奄美の島人の心に触れ、唄を通じたコミュニケーションを学びました。奄美大島での合宿稽古では、唄の主人公にもなった「鍋加那の墓」などゆかりの地を訪ねたり、地元の人々の三味線と唄に合わせて踊ったり、今も続く奄美のシマ唄文化を体感しました。

そのほか、温泉クラス、農業クラスなど多数のクラスが週末のフィールドワークで丸の内を飛び出し、地域を訪れています。→P23「開講クラス一覧」

私②視点

シャボン玉玩具メーカー

有限会社友田商会
松本春奈さん

一緒に大人向け
商品を開発
していきます



活動を広めようと福岡の弊社までお越しくださいました。その熱意にまず感動しました。ちょうど大人も楽しめる商品の開発を進めていたことから、すぐに意気投合して協力させていただくことになりました。現在は「シャボン玉スタンド」の製造販売を担当しています。今後もこうしたサポートを通して、大人の方も恥ずかしがらずにシャボン玉が吹ける環境をどんどん広げていきたいですね。

ソーシャルプロジェクト

東京シャボン玉倶楽部

2010年秋季期「環境・ソーシャルプロデューサークラス」から生まれたプロジェクト。誰もが気軽に立ち寄り、シャボン玉が楽しめる仕掛けをつくろうと、既存のスタンド式灰皿にシャボン液を入れ、吹き棒を備え付けた「シャボン玉スタンド」を考案。レストランやイベント会場などに設置し、喫煙所に代わる新たな憩いの場「シャボステーション(以下シャボステ)」の普及を目指している。ニューヨークなど海外での設置実績あり。メンバーは5人。<http://shabons-with.me/blog/>

subject

見知らぬ人同士に会話を生み、
人と人が自然とつながる街へ

idea

60 シャボン玉で喫煙所の コミュニティを実現

シャボステのアイデアは、「街に集う人々が仲良くなれる仕掛けを考える」という授業の課題から生まれました。世代を超えて楽しめる仕掛けとして、けん玉など「昔ながらの日本の遊び」をひらめき、街なかで試した結果、シャボン玉が一番人々を笑顔にしたと、メンバーの平野美奈さん、杉本有紀さんは語ります。

平野「授業最終回のアイデア発表前ギリギリになって、シャボン玉がタバコを吸う仕草に似ているからと、タバコに代わる「新しい一服」というコンセプトが追加されたんだよね」

杉本「メンバー全員、非喫煙者なので、上司、部下、部署関係なく、フラットに話せる会社の喫煙所コミュニケーションションがうらやましかったんです。街中の喫煙所がシャボステに変わったらいいなって。タバコの代わり」「新しい一服」というキーワードをアイデアに付けたら、一気に社会性が出てきました」

平野「でも社会を変えようという前提ではなく、シャボン玉は楽しい」から始めたところが、多くの人を巻き込んで活動できているポイントだと思います」

クラス終了から3年以上活動を継続できた原動力は、悔しさにありました。

杉本「授業での評価が全6チーム中2位。1位の自信があったので悔しくて。それ

でクラス終了後に週1回集まって今後の活動を話し合うことにしました。手始めにウェブをつくったら、2カ月後に、レストラン「六本木農園」に設置してもらえたことになったんです」

平野「そんな動きをウェブで発信したら新聞に大きく取り上げてもらって。それが起爆剤となって、他のメディアやお店、イベントを主催する方から問い合わせをいただくようになりました」

杉本「どんどん流されていったよね(笑)。シャボステの出張依頼があれば、とにかく全力で参加して。気がつけば、北海道から九州まで全国20以上の「当地シャボン玉倶楽部」ができていました」

平野「活動を長続きさせるには、手をかけ過ぎないことも大切。仕事を持つ自分たちが何より楽しんでやるために。だから、あえて主眼的に関わらないんです。シャボステにルールはないから、やりたい方はどうぞご自由に!」って(笑)」

杉本「シャボン玉スタンドはイベント会場やお店の片隅に置いてもらう脇役コンテナ。世界中どんな場にもフィットできる万能なところがいいよね」

平野「おまけに持ち運びできて、気づいたらちゃっかりそこにあるような」

杉本「シャボン玉がふわふわと浮いているような、肩の力を抜いたこのゆるさが活動を継続する秘訣なのかも」

平野「大きく膨らみすぎて弾けてしまわないように、未永くゆったり、ね(笑)」

メンバーの杉本有紀さん(左)と平野美奈さん(右)は、結成のきっかけとなったクラスが朝大学初受講。2人は今や東京シャボン玉倶楽部以外にも、さまざまなソーシャルプロジェクトを展開中で、「朝大学で人生変わりました!」と声をそろえる。



受講生アンケート結果1 受講しての変化、良かったことは何ですか？

「モチベーションの高い人たちと知り合って**向上心**が持てた」「朝早く起きる快感がありました。朝焼けが毎週綺麗でした。自己満足ですが、いいことをしている、という実感があります」「業界が違う人の**意見が新鮮!**」「朝ご飯をしっかりと食べるようになった」「ワークライフバランスが少し**改善された**」「周囲から『最近楽しそうだね』と言われるくらい、**日々の生活にハリ**が出ました。」「共感できる(してもらえ)仲間が増えた」「人前で話すことに慣れた」「家族に**感謝の気持ち**が増えました。なぜならば、家族の協力を得なければ受講できなかったのだから。」「**年齢、業種をこえて親交を深めることができた**。」「日常では知り得ない**世界を知る**ことができた」



宇宙プロデューサークラス

丸の内から
国際宇宙ステーションへ
■長谷川義幸、小林智之

JAXAの各エキスパートによる講義や
筑波宇宙センター施設見学から、
JAXAが国際社会における宇宙開発の
現場で得てきた知見や経験に触れた。
さらに、国際宇宙ステーション
(ISS)最大の実験施設「きぼう」利用
の可能性を探り、活用方法を提案。



ソーシャルクリエイティブクラス

グッドアイデアでマイまちづくり!
■宇田川裕喜、小野裕之、松岡一久

インターナショナル
プロデューサークラス

世界にニッポンを伝えよう
■エバレット・ブラウン、トム・ヴィンセント、ナンシー・
シングルトン・ハチス、山田拓、古田秘馬、
ジャスティン・ボッツ

アーバン木こりクラス 岩手編

都会に暮らし、森と生きたる
■水谷伸吉、佐々木康行、細谷一

そうだったのか!
学べる農クラス

みんなで食べて考えて体験しよう
■脇坂真史

イチゴなど旬の食材をつま
みながら、農業従事者の高
齢化や品種改良の課題を
学び、農業活性化のアイ
デアを考えた。また、フィ
ールドワークでは、群馬県
村で「雪はたか」の田植え
作業を体験。

No Meat No Life
肉ソムリエクラス

あなたはまだお肉の楽しみ方を知らない
■勝又剛、星野康、古田秘馬、脇坂真史

キッチン付きの会場で、尾崎
牛などのブランド肉をはじめ
とする様々な牛、豚、鶏の食
べ比べを行い、違いを実感。
肉の選び方や部位別調理法
についても知識を深め、最
後の授業でチームごとにプレ
ゼンBBQを実施した。

鼓童プロデュース!
和太鼓クラス

目指せ! アース・セレブレーション
■齊藤栄一

映画コミュニケーションクラス

自分の「物語」を形にして伝える
■林弘樹、栗山宗大

ラジオパーソナリティクラス

プロから学ぶ“話す”極意
■節丸雅孝

働くパパ・ママクラス

働き盛りは、育児盛り
■大栗ナナコ、安藤哲也

顔ってな〜? クラス

コミュニケーションメイクアップ
■かづきれいこ、西奈まるか

心理メソッドクラス

恋愛で心理を学ぶ
■森川陽太郎

アジア発見クラス

アジア人として世界をみてみよう!
■九門崇

Yoga for
ビジネスパーソンクラス

絶対自分感! 家でできるセルフマネジメント
■キミ

口元から美と健康を
考えるクラス

食べて笑って話して“健口美”になろう
■細川モモ、小川朗子、森崎友紀、野村絵理奈、
菅沼薫

R-body(カラダ再考・再生)クラス

運動による予防医学を身につける
■鈴木岳

【女性限定】美活・妊活クラス

いつかのために今からできること
■佐藤雄一、細川モモ、本田由佳

アートヴォイスメソッドクラス

人は、なぜ声をだすのか?
■楠瀬誠志郎

トライアスロンクラス

トライアスリートへの道
■白戸太朗、岩田聡、梅田祐輝

【女性限定】タニタとつくる
美人の習慣クラス

“もっと”ヘルスリテラシーを高める
■細川モモ、柳川舞、岡本英子、三ツ橋里香、
山谷千秋、西澤美幸

セルフボディ
カウンセリングクラス

自己治癒力をメキメキ高める!
■ヒデ谷口

丸の内チアダンスクラス

チアスピリットでまちを元気に
■森夕希子

【挫けない力】養成クラス

ランニングを習慣化しビジネスに生かす
■石田淳、白戸太朗

カラダ機能改良計画
2013春クラス

機能的なカラダへフィットする2カ月
■岡崎卓也、和田佳子

ブッタと仏像入門クラス

ブッタの教えと仏像
■廣瀬郁実

歌舞伎入門クラス

歌舞伎がとことん楽しくなる60分!
■金田栄一

日本の生活美クラス

日本の美意識を暮らしに取り入れる
■鳥居満智栄、畑利和、黒田泰三、林家ばたん、
一保堂茶舗スタッフ、高宮暉峰、大高翔

九州温泉大学クラス

温泉の宝庫・九州をぐるっと湯めぐり
■石井宏子、望月崇史、黒川温泉青年部

幕末維新クラス

幕末志士たちから私たちにメッセージ
■木戸寛孝

マネーコミュニケーションクラス

Happyになるお金の付き合い方講座
■内藤忍

生きる哲学クラス

人生におけるジレンマを考える
■小林正弥

「ラ・フォル・ジュルネ」
クラス

空前絶後の音楽祭を200%楽しもう!
■飯田有抄、オヤマダアツシ、片桐卓也

毎年ゴールデンウィークに
丸の内エリアを盛り上げる
音楽祭“ラ・フォル・ジュ
ルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」
音楽祭(LFJ)”の楽しみ方
を、音楽祭を知り尽くした
LFJクラシックソムリエが講
師となり伝授。



【編集力】めざましクラス

アタマとココロの朝稽古
■イシス編集学校師範

【女性限定】
美しい肌のつくり方クラス

10年後も輝く自分をプロデュース
■廣森知恵子

復興プロデューサー
カリキュラムin東京

■古田秘馬、田中進、千葉大貴、木戸寛孝、脇坂真史



5周年記念シンポジウム

「学びのコミュニティが新しい時代を創造できるのか」

【登壇者】※登壇順。肩書はシンポジウム当時のものです。
鈴木寛(参議院議員)
井上成(エコツヴェリア協会専務理事、三菱地所株式会社都市計画事業室副室長)
篠田昭(新潟市長)
エバレット・ブラウン(写真家、ジャーナリスト)
栗原邦夫(キリン株式会社執行役員CSV推進部長、キリン絆プロジェクトリーダー、
キリンホールディングスグループCSR担当ディレクター)
古田秘馬(丸の内朝大学プロデューサー)

第1部の登壇者は、教育、地域行政、ジャーナリズム、食などに関わる仕事の第一線に立ちながら、朝大学にもアクティブに関わっている、各界からの5人です。

鈴木寛氏は大学教授を経て文部科学副大臣を務めた経験から教育への深い理解と関心があり、「コミュニティの普及にも尽力しています。今回は「新しい学びとコミュニティ」のあり方というテーマでプレゼンテーションを行いました。

新潟市長の篠田昭氏は、日本でもっとも先進的な「公民館活動」を促進するなど、地域

2013年6月に丸ビルホールで行われたシンポジウムには約300人が参加。これまでの朝大学の足跡を振り返るとともに、その実践の場から見てきた「学びのコミュニティ」の可能性と将来性について、第1部ゲスト講演、第2部パネルディスカッションの構成で、多様なパネリストたちが意見を交わし合い、未来に向けた熱い討議が展開されました。

行政、企業、海外など
多様な視点で討論

役割は大きいという見解です。それぞれのスタンスで、現在の日本の状況を分析し、朝大学の可能性と期待を語りました。

シンポジウムの後半は、2015年の課題解決のカタチと題した、登壇者によるパネルディスカッションです。モデレーターを務めた朝大学プロデューサーの古田秘馬が、新しい社会を創造するために「何のどういった掛け合わせに可能性があるか」を問いかけてます。

井上は「異質な矛盾するもの同士の掛け合わせこそ可能性がある」とし、都市・アグリ(農業)、都市と生物多様性の取り組みを紹介しました。栗原氏は「CSVを巡って積極的に関わろうとする企業同士、担当者同士の交流や意見交換にヒントがたくさんあり、インベションのチャンスがある。ステークホルダーそれぞれが自分たちのメリットにこだわらずに活動する場が重要だ」と話しました。これに反応したのは篠田氏でした。「近所談義という、新潟市の取り組みを紹介し、近所同士の「コミュニケーションがコミュニティを醸成し、強い力となるが、閉鎖的にならずに異人・変人を受け入れることが地域の力となっていく」と話しました。

「それを都市部で行っているのがまさに朝大学」と古田が指摘。さらに、鈴木氏は「これからの時代をリードするのは、学びの場のオープンネットワークである」としながら、大学という教育研究機関ができるのはゼロから1を生むところ、1から10を担うのはNPOが得意で、10から50までをやるのが企業。51以上が政府の仕事になる」とし、「朝大学にはゼロから50までを担うパワーがある。ぜひとも時代を担う場になつてほしい」と期待を語りました。

パネリストが指摘してきたように、朝大学は「掛け合わせ」オープンな「コミュニケーション」の場として機能していくとともに、「研究成果をパブリックに活用してプロジェクトとしていく」「パブリック」の機能(鈴木氏)、「ビジネスプロデューサー」を育てる継続的な人材育成の場(井上)としての可能性も探っています。

※本記事はECONOMISTの記事を再構成したものです。

オープンネットワークが
社会を変えていく

シンポジウムの後半は、2015年の課題解決のカタチと題した、登壇者によるパネルディスカッションです。モデレーターを務めた朝大学プロデューサーの古田秘馬が、新しい社会を創造するために「何のどういった掛け合わせに可能性があるか」を問いかけてます。

井上は「異質な矛盾するもの同士の掛け合わせこそ可能性がある」とし、都市・アグリ(農業)、都市と生物多様性の取り組みを紹介しました。栗原氏は「CSVを巡って積極的に関わろうとする企業同士、担当者同士の交流や意見交換にヒントがたくさんあり、インベションのチャンスがある。ステークホルダーそれぞれが自分たちのメリットにこだわらずに活動する場が重要だ」と話しました。これに反応したのは篠田氏でした。「近所談義という、新潟市の取り組みを紹介し、近所同士の「コミュニケーションがコミュニティを醸成し、強い力となるが、閉鎖的にならずに異人・変人を受け入れることが地域の力となっていく」と話しました。

秋

33 Classes

アーバン木こりクラス

岩手・住田町プロジェクトデザイン編
■水谷伸吉、佐々木康行、細谷一

丸の内朝大学TV開局クラス

「おもしろい」をシェアする番組づくり!
■福原フシ、藤谷弥生、榊曉彦、渡辺浩司

ソーシャルクリエイティブクラス

グッドアイデアでマイまちづくり!
■宇田川裕喜、小野裕之、杉本有紀、横尾俊成

ウェルフェア プロデューサークラス

障がい者施設と丸の内をつなげよう!
■羽塚順子、平原礼奈

日本温泉再発見 withおんせん県クラス

魅惑の温泉めぐり
■石井宏子

地域プロジェクト ムービークラス

地域プロデュースを発信! 三重編
■林弘樹、栗山宗大、古田秘馬、武藤直樹

アジア発見クラス

アジア人として世界をみてみよう!
■九門崇、藤巻秀樹、マリッパ・センブ、
メタ・バラツ、海老原周子、李承珉

インターナショナル プロデューサークラス

世界にっぽんを伝えよう
■エバレット・ブラウン、ナンシー・シングルトン・
ハチス、山田拓、トム・ヴィンセント、ジャスティン・ボツ

丸の内コーラスクラス

ゴスペルから日本の名曲まで
■河波浩平

ラジオパーソナリティクラス

プロから学ぶ「話す」極意
■節丸雅孝

丸の内チャダンスクラス

チャスピリットでまちを元気に
■森夕希子

ユーモあまんNEOクラス

楽しませるアイデアのつくり方
■吉田照幸

オーガニック マネジメントクラス

サスティナブルな体と心をデザインする
■鳥塚ルミ子、柳澤智子、弓削多洋一、マルセル・ラー
ジィンガー、松本典子、渡辺由佳

「編集力」めざましクラス

アタマとココロの朝稽古
■イシス編集学校師範

ソーシャルアクション学部

ソーシャルビジネス学部

地域学部

国際学部

表現学部

丸の内学部

食学部

ルーツ学部

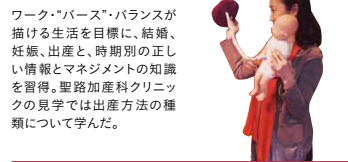
からだ学部

心体学部

※秋学期から学部を10学部に変更しました。

未来の働く パパママクラス

働き盛りは、育児盛り
■大栗ナナコ、安藤哲也



まるごとタニタの 健康生活クラス

男性歓迎! はかって健康をデザイン
■岡本英子、三橋美穂、桃谷裕子、萩野菜々子、
龍口知子、西澤美幸、山谷千秋、小野なぎさ

心理メソッドクラス

恋愛で心理を学ぶ
■森川陽太郎、後藤史、吉元夕加里

トウキョウ森暮らしクラス

ピクニッククラス上級編
■竹本吉輝、岩崎雅美、中溪宏一、甲斐徹郎、noyama

生きる哲学クラス

人生におけるジレンマを考える
■小林正弥

マネーコミュニケーションクラス

これからの「お金との付き合い方」
■内藤忍

【女性限定】 美しい肌のつくり方クラス

10年後も輝く自分をプロデュース
■廣森知恵子



No Meat No Life 肉ソムリエクラス

あなたはまだお肉の楽しみ方を知らない
■勝又剛、脇坂真史、星野康

食と農の探求クラス

学んで食べて食生活を楽しくしよう
■脇坂真史、久松達央

幕末維新クラス

幕末志士たちから私たちへのメッセージ
■木戸寛孝

歌舞伎探求クラス

歌舞伎を楽しく学ぶ60分
■金田栄一

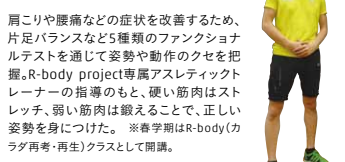


日本の生活美クラス

日本の美意識を暮らしに取り入れる
■林家ばたん、一保堂茶舗スタッフ、高宮曜峰、佐原
和人、山口信博、オカズデザイン、鷺見庸代、山内悠

カラダ コミュニケーションクラス

運動による予防医学を身につける
■川田誠



トライアスロンクラス

トライアスリートへの道
■白戸太朗、岩田聡、梅田祐輝

秋からのカラダづくりクラス

快適生活を取り戻す最先端メソッド公開
■岡崎卓也、福岡みゆき

アートヴォイスメソッドクラス

人は、なぜ声をだすのか
■楠瀬誠志郎

ZEN呼吸法クラス

心も身体も不調知らず! 江戸時代の秘法
■椎名由紀

丸の内宇宙人クラス

プラネタリウムから農業まで
宇宙は芸術で溢れている!!
■達坂卓郎、森脇裕之、石尾誠一

ラブレターコンテスト特別講座

■涼風花、森川友義、佐々木圭一

夏

28 Classes

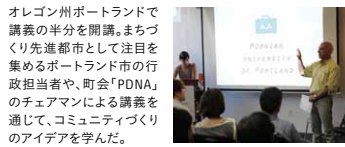
AID コミュニケーションクラス

障がいや難病に役立てるクリエイティブ
■白生水生、井口健司、西根英一



ポートランド朝大学クラス

隣人都市へ週末留学!
■宇田川裕喜、吹田良平、ジェフリー・ハマリ、
ケイト・ワシントン、デビッド・サビニア、ケヴィン・
バック、ボブ・ヘイスティングス、山崎満広



地域プロデューサークラス

日本を地域からデザインする! 能登編
■古田秘馬

ソーシャルクリエイティブクラス

グッドアイデアでマイまちづくり!
■宇田川裕喜、小野裕之、松岡一久

スポーツ球団 プロデュースクラス

みんなでつくる東京初プロバスケットチーム
■辻秀一

夏の農業を楽しむクラス

田畑に行って体感しよう!
■脇坂真史

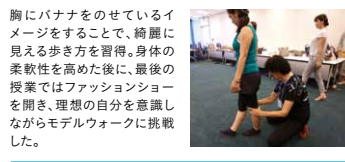
丸の内コーラスクラス

ゴスペルから日本の名曲まで
■河波浩平



【女性限定】 魅せるカラダクラス

モデルボディへの第一歩
■永井レイ



日本復帰60周年 奄美シマ唄クラス

シマ唄を通じて島人の心に触れる
■前山真喜、中村瑞希、山元俊治、新元一文、藤憲吾

ソーシャルドキュメンタリークラス

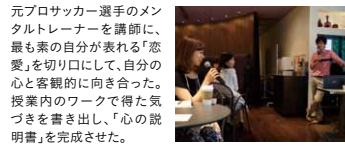
身のまわりの物語から世界を変える
■林弘樹、栗山宗大、林日奈子、武藤直樹、島田健一

カラダコミュニケーションクラス

運動による予防医学を身につける
■鈴木岳、川田誠

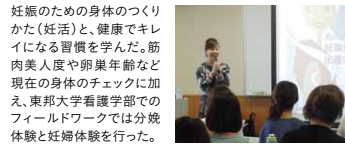
心理メソッドクラス

恋愛で心理を学ぶ
■森川陽太郎



【女性限定】 美活・妊活クラス

いつかのために今からできること
■佐藤雄一、細川モモ、本田由佳



Wild Sense YOGA クラス

五感を鍛え、野性の感覚を取り戻そう!
■キミ、ユウ

オーガニックマネジメントクラス

サスティナブルな体と心をデザインする
■鳥塚ルミ子、柳澤智子、宮崎道男、尾崎宗範、
長谷川淳、渡辺由佳

アートヴォイスメソッドクラス

人は、なぜ声をだすのか
■楠瀬誠志郎

トライアスロンクラス

トライアスリートへの道
■白戸太朗、岩田聡、梅田祐輝

ZEN呼吸法クラス

心も身体も不調知らず! 江戸時代の秘法
■椎名由紀

クリアな自分に還るヨガクラス

Yoga for Clarity
■Kannan

武士道クラス2013

現代に活かす武士道のすすめ
■アレキサンダー・ベネット、別府みさ子、東隆一、
永井宗直、西原一徳

快適「夏のカラダ」の つくり方クラス

夏仕様スマートボディ
■岡崎卓也、福岡みゆき

ニッポンのものづくりクラス

印傳と江戸切子のデザインを探索する
■畑口徹、山本裕輔、河内宏仁、脇坂真史

日本の生活美クラス

日本の美意識を暮らしに取り入れる
■黒田泰三、一保堂茶舗スタッフ、山内悠、壤晴彦、
泉二弘明、鳥居満智栄、鷺見庸代

阿波おどり入門クラス

朝から踊らにゃ損損
■富澤武幸、小野口さおり、児浦美和

富士山雑学登山クラス

世界遺産! 富士山を学ぶ、知る、登る!
■松本省二、廣田勇介、林智加子、渡辺佐智、有坂
響子、山内悠、加藤洋

ニッポン再発見クラス

愛媛第2弾・忽那諸島へ島留学! 編
■古田秘馬、田中政利

マネーコミュニケーションクラス

海外投資で資産を殖やす編
■内藤忍、猪尾愛隆

「編集力」めざましクラス

アタマとココロの朝稽古
■イシス編集学校 師範



2013年度 数字でみる朝大学

年間講師数

のべ **253** 人

丸の内の未来を変える学問をつくる気持ちで取り組んでもらえる方に講師をお願いしています。外国人講師もいます。

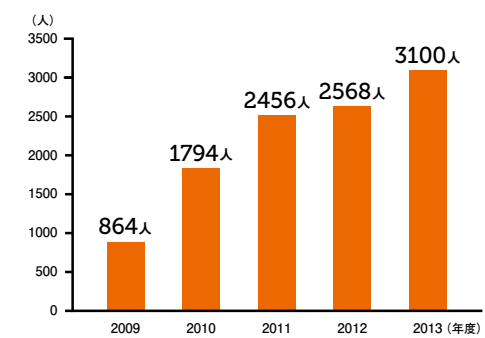
年間クラス数

のべ **96** クラス

春35クラス(通年開講含む)、夏28クラス、秋33クラス(特別開講含む)を開講。秋学期から10学部となりました。→P23

年間受講生数

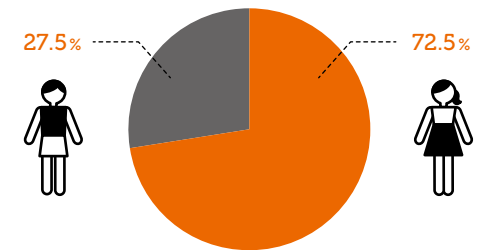
のべ **3100** 人



春1165人、夏908人、秋1027人が受講し、開講から5年でのべ受講生数は1万人を超えました。

男女比

約 **3:7** 男 女



受講生の約7割が女性。女性限定クラスもありますが、「スポーツ球団プロデュースクラス」など男女半々に近いクラスも。内容によって構成比は様々です。

提携店舗数(2013年秋学期実績)

24 店舗

- 学食 19 店舗
- 保健体育室 3 店舗
- 購買部 1 店舗
- 美術室 1 館

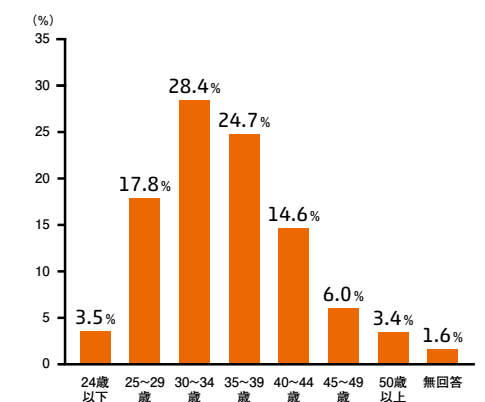
カフェから花屋まで、受講生特典がある提携店舗がキャンパスに24店舗。三菱一号館美術館もお得に利用できます。→P28

キャンパスの広さ

約 **120** ヘクタール

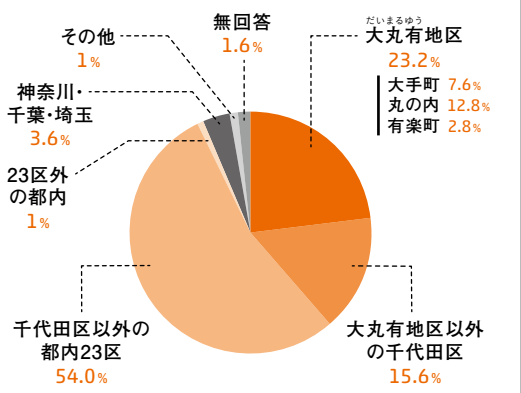
大手町・丸の内・有楽町(大丸有)地区すべてがキャンパス。カフェ、オフィス、クッキングスタジオ。様々な教室があります。

年代



受講生の半数以上が30代。若手社員から、会社で要職に就く人まで、幅広い年代の人たちが一緒に学んでいます。

勤務地



朝大学のキャンパスである大丸有地区勤務は約20%。近隣の千代田区勤務と合わせても約40%。多くの受講生は、授業終了後に電車に乗って勤務先に向かいます。

クラス委員数

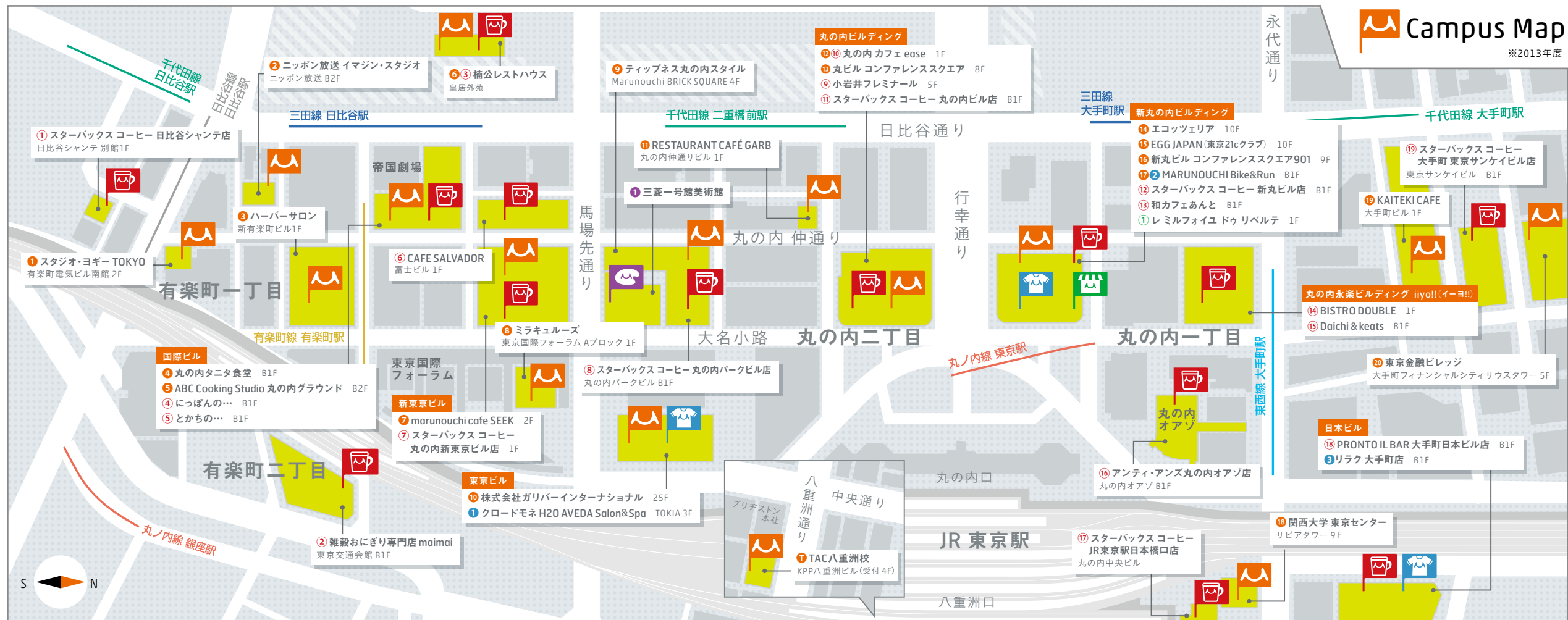
のべ **139** 人

朝大学経験者から選ばれるいわゆる“学級委員”がクラス委員。出席確認や終業式の企画などを行う、受講生のリーダーたちです。

事務局スタッフ数

23 人

20代、30代のスタッフが多く、受講生と近い視点を持って朝大学の運営に取り組んでいます。



Campus

- スタジオ・ヨギー TOKYO**
千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館 2F
- ニッポン放送 イマジン・スタジオ**
千代田区有楽町1-9-3 ニッポン放送 B2F
- ハーバーサロン**
千代田区有楽町1-21-1 新有楽町ビル 1F
- 丸の内タニタ食堂**
千代田区丸の内3-1-1 国際ビル B1F
- ABC Cooking Studio 丸の内グラウンド**
千代田区丸の内3-1-1 国際ビル B2F
- 楠公レストハウス**
千代田区皇居外苑1-1
- marunouchi cafe SEEK**
千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル 2F
- ミラキュルーズ**
千代田区丸の内3-5-1 東京国際フォーラム Aブロック 1F
- ティップネス丸の内スタイル**
千代田区丸の内2-6-1 Marunouchi BRICK SQUARE 4F
- 株式会社ガリバーインターナショナル**
千代田区丸の内2-7-3 東京ビル 25F
- RESTAURANT CAFÉ GARB**
千代田区丸の内2-2-3 丸の内仲通りビル 1F
- 丸の内 カフェ ease**
千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング 1F

- 丸ビル コンファレンススクエア**
千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング 8F
- エコツェリア**
千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 10F
- EGG JAPAN(東京21cクラブ)**
千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 10F
- 新丸ビル コンファレンススクエア901**
千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 9F
- MARUNOUCHI Bike&Run**
千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング B1F
- 関西大学 東京センター**
千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー 9F
- KAITEKI CAFE**
千代田区大手町1-6-1 大手町ビル 1F
- 東京金融ビレッジ**
千代田区大手町1-9-7 大手町フィナンシャルシティサウスタワー 5F
- TAC八重洲校**
中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル (受付 4F)

学食

- スターバックス コーヒー 日比谷シャンテ店**
千代田区有楽町1-2-2 日比谷シャンテ 別館1F
- 雑穀おにぎり専門店 maimai**
千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 B1F
- 楠公レストハウス**
千代田区皇居外苑1-1

- にっぽんの…**
千代田区丸の内3-1-1 国際ビル B1F
- とかちの…**
千代田区丸の内3-1-1 国際ビル B1F
- CAFE SALVADOR**
千代田区丸の内3-2-3 富士ビル1F
- スターバックス コーヒー 丸の内新東京ビル店**
千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル 1F
- スターバックス コーヒー 丸の内パークビル店**
千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビル B1F
- 小岩井フレミナール**
千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング 5F
- 丸の内 カフェ ease**
千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング 1F
- スターバックス コーヒー 丸の内ビル店**
千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング B1F
- スターバックス コーヒー 新丸ビル店**
千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング B1F
- 和カフェあんと**
千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング B1F
- BISTRO DOUBLE**
千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディングiiyo!! (イーヨ!!) 1F
- Daichi & keats**
千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディングiiyo!! (イーヨ!!) B1F
- アンティ・アンズ丸の内オアゾ店**
千代田区丸の内1-6-4 丸の内オアゾ B1F
- スターバックス コーヒー JR東京駅日本橋口店**
千代田区丸の内1-9-1 丸の内中央ビル

- PRONTO IL BAR 大手町日本ビル店**
千代田区大手町2-6-2 日本ビル B1F
- スターバックス コーヒー 大手町 東京サンケイビル店**
千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル B1F

保健体育室

- クロードモネ H2O AVEDA Salon&Spa**
千代田区丸の内2-7-3 東京ビルTOKIA 3F
- MARUNOUCHI Bike&Run**
千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング B1F
- リラク 大手町店**
千代田区大手町2-6-2 日本ビル B1F

購買部

- レ ミルフォイユ ドゥ リベルテ**
千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 1F

美術室

- 三菱一号館美術館**
千代田区丸の内2-6-2



www.asadaigaku.jp



丸の内朝大学企画委員会事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-5-1
新丸の内ビルディング1008区 エコツェリア協会内
info@asadaigaku.jp